

## 令和5年度 学校教育自己診断の結果

学校経営計画が、どのように取り組んでいるかが分かるよう各質問項目を選び、経年変化を考察する。(生：生徒 教：教員 保：保護者であてはまる%を記載)なお、今年度は質問項目を精選しており、昨年度と質問項目が変わっている部分については、近似した項目を並列している。

## 1 確かな学力 ○わかりやすい授業を拡充・展開する

| 対象  | 質問項目                     | R5    | R4    | R3    |
|-----|--------------------------|-------|-------|-------|
| 生徒  | 自分の学力の向上を実感している          | 67.0% | 67.6% | 54.1% |
| 教職員 | 授業は、基礎学力の向上に重点を置いている     | 96.4% | 89.3% |       |
| 教職員 | 基礎・基本を明確に教材の精選・工夫を行っている。 | 92.9% | 96.4% | 100%  |
| 保護者 | 子どもは、授業が分かりやすく楽しいと言っている  | 63.2% | 70%   | 62.1% |

プロジェクター導入以降、ICTの活用、参加体験型を多く取入れ、意欲を向上させるように工夫していることが功を奏し、教員の実感や保護者の手ごたえ、生徒の実感について、徐々に評価が向上している。ただ、双方向の授業については、機材の貸し出しに関わるトラブルが頻発するため、なかなか向上しない。

## 2 安全安心な学校 ○生徒に寄り添う生活指導

| 対象  | 質問項目                              | R5    | R4    | R3    |
|-----|-----------------------------------|-------|-------|-------|
| 生徒  | 悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。          | 75.4% | 76.2% | 66.8% |
| 生徒  | いじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる。     | 81.0% | 75.4% | 71.6% |
| 教職員 | 教職員は生徒の意見をよく聞いている                 | 100%  | 92.9% | 88.9% |
| 教職員 | いじめが起こった際の体制が整っており、迅速に対応することが出来る。 | 100%  | 96.6% | 88.9% |
| 保護者 | 保護者の相談に適切に応じてくれる                  | 80.9% | 86.0% | 88.1% |
| 保護者 | いじめについて困っていることがあれば真剣に対応してくれる      | 73.5% | 85.2% | 80.0% |

令和4年度より、「いじめ防止対策委員会」の活性化を図り、人間関係のトラブルが認知されたときには速やかに会議を開催し、情報を共有、組織的な対応を積み重ねている。

また、懇談会や「支援カード」等を活用しながら丁寧な対応をしている。

保護者の発問は令和4年度より「保護者の相談に適切に応じてくれる」に変更した。日ごろからのこまめな連絡と相談を実践した結果、肯定的意見が向上している。

### 3 将来の生き方デザイン ○系統的なキャリア教育

| 対象  | 質問項目                     | R5    | R4    | R3    |
|-----|--------------------------|-------|-------|-------|
| 生徒  | 将来の進路や生き方について考える機会がある    | 87.2% | 83.2% | 80.4% |
| 教職員 | キャリア教育の目標を設定し、実践している     | 85.7% | 71.5% | 86.1% |
| 保護者 | 将来の進路や職業について適切な指導を行っている。 | 69.1% | 87.7% | 77.2% |

キャリア教育についての質問についての回答で、保護者の数値が著しく下がっているが、生徒と教職員の数値が近似しており、生徒たちと保護者のコミュニケーションがうまくとれていない世帯が増えた、と考えられる。

### 4 教員の育成（資質向上）

| 対象  | 質問項目                        | R5    | R4    | R3    |
|-----|-----------------------------|-------|-------|-------|
| 生徒  | 他の先生が授業の見学に来ることがある。         | 82.1% | 55.8% | 57.6% |
| 教職員 | 若手教員と先輩教員の交流を定期的の実施している。    | 78.6% | 59.2% | 63.9% |
| 教職員 | 人権を重視した様々な生徒指導や保護者対応を行っている。 | 96.4% | 93.1% | 94.4% |

教員の資質向上については、今年度授業相互見学月間（11月）を設定し、他の教員の授業を見学して、お互いに評価しあう取組みを行った。また、例年通り人権意識の向上をはかることを主な目的として研修等を実施した。また日常の取組みとしても、人権尊重の観点を強調しつつ指導を行った結果、人権尊重の姿勢についてはおおむね良好な評価が出ている。